

音楽と共にできていくもの



先週から今週にかけて、体育館は音楽ホールに様変わり。6年生が会場を設え、5年生が楽器を運び、そこに全学年の音楽が吹き込まれていきました。職員室で仕事をしているとだんだんと仕上がっていく歌と合奏が響いてきます。引き寄せられるように足が体育館、いえ、音楽ホールに向かいます。そこには、情熱的に指導する先生と、精一杯表現しようとする子どもたちの姿がありました。

私は音楽会が大好きです。東小学校で学級担任をしていたころは、音楽会までの毎日が楽しくて楽しくて仕方ありませんでした。クラスや学年の子どもたちと、音楽をだんだんと作り上げていく、出来上がっていく感覚。それは音楽を作りながら、わたしと子どもたち、子どもたち同士のつながりを作っていく感覚だったように思います。今はそういう感覚を味わうことができないので、先生たちが本当にうらやましく思います。

音楽は楽しいものですが、もちろん得手不得手がありますので、苦手だなと感じている子どもたちもいるかと思います。本当はここまでできるようになりたいけれどなかなかそうはなれない自分に歯がゆさを感じているかもしれません。ステージに立つことそのものが苦手なこともあるでしょう。

それでも、子どもたちは、友だちと音を合わせることを楽しみながら、友だちとつながり、先生とつながり、聞いてくださる皆さんとつながる気持ちよさを感じながら、音楽会を過ごすかと思います。明日の演奏を経て子どもたちの中にどんな感動が生まれたのか、是非おうちの皆さんも思い巡らせてみてください。そして、保護者の皆さんの中に生まれた感動を、必ずお子さんにお伝えください。

裏面もご覧ください

地域の皆様のまなざし



11月14日（水）に、サントミュージゼにおいて関東防犯協会連絡協議会様より、東小学校の見守り隊が特別功労賞として表彰されました。

式には、学校を代表してPTA鈴木会長に参加いただきました。表彰式当日の夜にPTA理事会がおこなれましたので、その理事会の場で披露させていただきました。学校長からは「見守り隊の皆さんには、たとえ土砂降りの雨の中でも、毎朝立っていただいています。本当にありがたいです。地域の方に見守られて子どもたちは幸せです。」と話がありました。

安全面はもちろんですが、子どもたちが直接地域の方と関われる温かいつながりだと感じています。これからもご支援いただけますとありがたいです。よろしくお願いいたします。